

**校名の由来**

「明」…「知性を表し 光輝き賢い」の意

「成」…「育つ 育てあげる」の意

■ 将来にむかって優れた人材の輩出に期待がこめられた校名

**校訓**

聡 明（知）

敬 愛（徳）

躍 動（体）

知性を磨き 真理を探究する生徒

豊かな心情をもち 自他を尊重する生徒

心身共にたくましく 粘り強く実行する生徒

**教育目標**

(昭和60年4月1日制定)

**めざす学校の姿（日の出・明成小中一貫教育に向けて）**

「学び続ける学校」→「新しい時代に対応できる力」と「豊かな人間性・健やかな体」を育む学校

「社会とつながる学校」→ 未来を見据えて、地域とつながり、誰もが成長を実感できる学校

**めざす生徒の姿（日の出小・明成中で統一）**

『聡明』○挑戦する生徒

・失敗を恐れずチャレンジし、自ら学び続ける生徒

『敬愛』○協働する生徒

・個性の違いを受け入れ、支え合い、コミュニケーションを楽しめる生徒

『躍動』○貢献する生徒

・学級、学年、学校、地域など誰かのために行動できる生徒

(令和5年制定)

**学校運営のスローガン 『同じ山に登る』**

新しい時代に対応できる力の育成

豊かな人間性・健やかな体の育成

信頼される学校づくり

各年度の学校経営方針 【令和6年度のキーワード】

「全力・本気・根気」 ～ 挑戦・協働・貢献、支え高め合う集団 ～

《 令和9年度までの中期達成目標 》 (毎年確認)

山頂 ◎聡明（知）敬愛（徳）躍動（体）をバランス良く育てる

めざす学校像、めざす生徒像

★それぞれ5段階の4以上

★生徒や教職員の姿で評価

全国学力学習状況調査、全国標準学力検査

★全国・岩見沢の平均以上

全国体力・運動能力、運動習慣調査

★全国平均以上

学校評価 及び 各種アンケート

★肯定的な意見で80%以上

# 令和6年度 学校経営方針の重点について（概要）

## 令和6年度の経営方針に向けた思い

キーワード 「全力・本気・根気」 ～ 挑戦・協働・貢献、支え高め合う集団 ～

- (1) 「今が全力、今が本気」を生徒自らが日々問い直し、めげず、くじけず、根気強く・粘り強く取組む態度を養う。「挑戦・協働・貢献」を通して、個の力を高め、集団として「支え合うこと、高め合うこと」の達成感や充実感を体感させたい。
- (2) 同じ山の山頂（学校の教育目標達成）を目指し、本校の目指す学校の姿「**学び続ける学校**」「**社会とつながる学校**」を創造する。

## 1. 学校経営ビジョンと明成中の共通言語を継続・徹底・変化

- (1) スローガン「同じ山に登る」
- (2) 組織で動く「チーム明成」
- (3) 理念「学校づくり＝授業づくり」

## 2. 日常の授業づくりの徹底（一人一人の子どもを主語にした教育） ★【「学び続ける学校」】

- (1) 学力向上のための極的な授業づくり（誰一人取りこぼさず、一人一人を伸ばす）
  - ① 学習環境整備、授業力の向上
    - ア 学習規律の徹底、学習スキルの向上
    - イ 教師の資質能力の向上（校内研修・小中一貫研修（日の出小）・個人研修・外部機関研修）
    - ウ 子どもとの対話を大切にし、明成スタイル（主体的・対話的で深い学び）による学び
  - ② 生きる力を育む
    - ア 基礎的、基本的な知識及び技能（活用できる知識・技能等）
    - イ 課題解決に必要な思考力・判断力・表現力（考える力・プレゼン力等）
    - ウ 主体的に学習に取り組み、多様な人と協働する態度（高め合う力・対話力等）
- (2) ICT を効果的に活用した学び
  - ① iPad の効果的な活用
  - ② 個別最適な学び、デジタル教材活用

## 3. 全ての教育活動でピア・サポートを土台とした学校づくり（生徒の心に寄り添う教育）

- (1) 授業（各教科・道徳・総合）、特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）、部活動など
- (2) 生徒理解と人間関係づくり（生徒と生徒・生徒と教師・教師と教師）
  - ① 一人一人の心に寄り添う生徒支援（今より伸ばす生徒支援）
  - ② 不登校・いじめを生まない集団づくり、いじめを見逃さない組織づくり
  - ③ 縦割り活動の充実
  - ④ 対話を通してお互いを尊重し、高め合う集団づくり
  - ⑤ 心理的安全性が保たれる環境づくり（教室・職員室）

## 4. 継承と変化・進化の学校づくり

- (1) 変化することによる新たな学校の文化
  - ① 良いものを続けるためには常に変化を恐れない
  - ② 現状を把握し、まずは変化・進化の一步を踏み出す（必要なものを必要な分だけ）

## 5. 信頼され学校づくり ★【「社会とつながる学校」】

- (1) 幼・小・中・高との連携（日の出・明成小中一貫教育の充実）
- (2) 日の出・明成学校運営協議会を核とした学校と地域が協働する取組
- (3) 学校の取り組みの発信（小学校・日の出地域へも）  
（学校だより・学級だより・ブログ・テトル等を活用した発信力の強化）

## 6. 教育の質を上げるために、実効性のある「働き方改革」の推進（目に見える変化）

- (1) 更なるアイデア（個人→学年・G→企画委員会、カリキュラム検討委員会）
- (2) 岩見沢市の部活動改革との連携